

News Release

平成 25 年 3 月 1 日

北九州PCB廃棄物処理施設第2期施設溶剤蒸留室内での 洗浄液の漏洩の原因と対策について

平成24年9月22日(土)に発生しました第2期施設の溶剤蒸留室内での洗浄液の漏洩につきましては、同年9月24日(月)に概要をお知らせしたところですが、原因の究明と対策を講じ、北九州市より確認をいただきましたので、ご報告いたします。

なお、この設備を含め施設全体の安全運転につきましては、細心の注意を払って努めて参りますので引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. 発生状況

平成24年9月22日(土)午前6時頃、作業員が日常点検中に溶剤蒸留室1階床面に液溜まりを発見しました。直ちに、漏洩箇所を調査したところ、同室3階のスラッジコレクターB(浮遊固形物回収槽)蓋部から洗浄液が漏洩し、オイルパンを越えて2階及び1階へ漏出していることを確認したため、速やかに、漏洩防止及び漏出物の回収・拭取りを実施しました。

これによるPCB等の施設外への漏洩や換気排気の外部への影響並びに作業員への影響はありませんでした。

(1) 漏洩物

- ・ トランス・コンデンサの内部を洗浄した洗浄液
- ・ 漏洩量 約20リットル (うち約1リットルがオイルパンから溢出)
- ・ PCB濃度 約11%

(2) 発生直後の措置

- ・ スラッジコレクターBの使用中止 (3(1)で示す対策を講じるまでの間の措置)
- ・ Oリング(シール材)を新品に交換 (他の類似設備を含む。)

2. 発生原因

スラッジコレクターB蓋で漏洩時使用していたOリングを調査した結果、3年間の使用によりOリングが塑性変形してシール不良となり、これにより洗浄液が漏出したものです。

3. 再発防止策

(1) 漏洩防止対策(設備改善)

スラッジコレクターの更新及びオイルパンの改造を行いました。

- ① スラッジコレクターの蓋の固定は工具を使用して確実に行うよう、レバー式からボルト締め式としました。
- ② 蓋を閉めたときのリークチェック(圧力漏洩試験)用に窒素ガス注入装置を取り付けました。
- ③ スラッジコレクターに液面検知計を取り付け、液面監視を強化しました。
- ④ オイルパンの高さを50mmから100mmに嵩上げし、溜め容量をこれまでの2倍にしました。
- ⑤ オイルパンに漏洩検知器を設置しました。

(2) 管理強化対策

- ① Oリング交換管理基準を定め、運用を開始しました。
- ② 更新したスラッジコレクターの液面検知やリークチェック等に関し、管理手順書を作成しました。

(3) 他類似箇所への水平展開

- ① 同種スラッジコレクターの更新及びオイルパンの改造
今回の漏洩箇所と同種のスラッジコレクターの更新とオイルパン容量の倍増、漏洩検知器の設置を行いました。
- ② Oリング交換管理基準に基づき運用を開始しました。
- ③ スラッジコレクターと同種の機器についてもリークチェック用に窒素ガス注入装置を取り付けました。

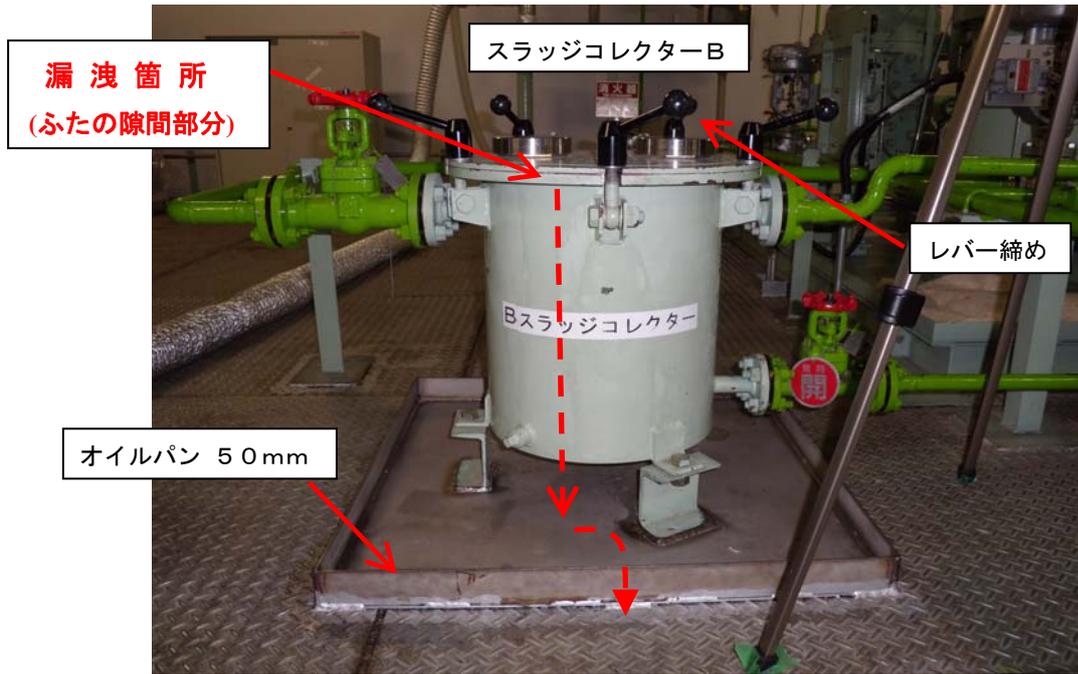
(別添) 漏洩した部分(対策前)の設備写真
対策後の設備写真

<連絡先>

日本環境安全事業株式会社北九州事業所

所長	牧田 泉	(TEL 093-752-1113)
副所長	入江 隆司	(TEL 093-752-1188)
総務課長	田野 洋	(TEL 093-752-1113)

＜ 漏洩した部分(対策前)の設備写真 ＞



＜ 対策後の設備写真 ＞

